

平成27年度農高・農大就農促進対策事業

事業主体名 伊佐農林高等学校

1 目的

農林業に関する興味・関心を持たせ、将来の農業担い手を発掘し、農林業関係従事者の育成に努める。そのため、優良農家や農業関係機関または農業大学校等の視察、グリーンツーリズムの研修、学校で企画する販売会などの体験学習、その他実技講習を通して、農業関係機関への就業を促す。

2 実施状況

(1) 農林業後継者励ましの会の実施

本校では、伊佐市長を会長とし、農林業後継者育成を目的とした育成推進協議会が組織されており、毎年7月に協議会を実施している。2月には、農林技術科3年で農林業関係に就職する生徒また農業大学校に進学する生徒を激励する会を実施している。今年度は、農業大学校への進学が3人をはじめ、農林業関係の就職3人、合計6人（全体の24%）がこの会に参加した。



農林業後継者励ましの会

(2) 農林館祭り in ベルク広場の実施

3年生の学びの集大成として、科目「グリーンライフ」のグリーンツーリズムの学習の実践活動として、今年度初めて、鹿児島市で販売会を実施した。事前学習では、伊佐市から公募した飲食や農業関連の販売所の方と交流活動や販売品などの紹介していただいた。販売当日は、伊佐市の8団体と本校の生産物の販売と地域応援団のピザをふるまい、買い物客をもてなした。学校生産物を提供しての加工肉（ソーセージ）や「君って白いね」シリーズのお菓子など学校と連携した企業の参加もあり、生徒の販売会での企画運営また交流活動を通してのコミュニケーション力の育成につながった



農林館祭り in ベルク広場

3 今後の課題、取組

農林技術科では、農業と林業に関する学習内容を取り入れ、2年生から専門性を高めるために専攻学習を行っている。1年生から学校生産物の校内での販売を体験することで、農業についての理解と今後の専門学習への意識向上を図っている。生徒は、地域農業にとどまらず、普段は見慣れない先進農家の実態や林業関係施設を研修する機会を知るきっかけとして、こうした行事を継続し、3年後の進路実現に大いに役立ててもらいたい。



はし作り体験

